

# あえて今、老人福祉センターリニューアル (滋賀県大津市)

## 取組概要

**老人福祉センターを「健康寿命の延伸に向けた高齢者の健康づくりの拠点」として機能充実**

- 浴場を廃し、フレイル予防の運動機能向上のため**トレーニングルームとシャワー室を設置**
- 体組成計や血管年齢計、骨健康度測定器などの**測定機器を設置し健康セルフチェック**
- トレーニングルームの継続利用を促す**ポイント制度を導入**
- 「老人のレクリエーション施設」のイメージを脱却するため**愛称を公募し「はびすこ」に決定**
- 市内に5施設(木戸・北・中・南・東)あるセンターを毎年度1施設ずつリニューアル

人口 343,916人 (R6.1.1現在)

担当 長寿施設課



トレーニングルーム



健康セルフチェックコーナー

## 創意・工夫した点

- 老人福祉センターは老朽化が進み、自治体にとって負の財産になりつつある中、**あえて機能充実を行い前向きに存続の道を選択**
- 更新・修繕費用が負担になる浴場設備をシャワー室に改修し、ボイラーからガス給湯器に転換することで**ランニングコストを削減**
- ORIZAP株式会社に取組を共感いただき、高齢者向けのトレーニングマシンとして同社の**chocoZAP (チョコザップ)** に設置してある**マシンと同じ機種を全国で初めて導入**  
※同社が運営する施設以外への同社のマシン納品は前例なし。



## 取組の効果

リニューアルした中はびすこ(老人福祉センター)令和6年4月の新規登録者  
**前年比900%↑ (11人→99人)**

利用者は高齢化し減少する一途であったが、前期高齢者や女性の利用が増え、施設の雰囲気活性化した。

## 他団体へのアドバイス

老人福祉センターの扱いに困っている自治体にとっては、浴場設備を廃止するだけでもランニングコストが大きく削減できるため、フレイル予防につながる機能充実という旗印をもって浴場をシャワー室に改修し、トレーニングマシン等を設置する取組は有効と考える。